

令和6年度
家庭教育講座
参加無料



黒川伊保子講演会

家族のトリセツ

自己肯定感を高める対話術

家は散らかっているもの、家族は甘やかすもの——実はこれ、AI時代に活躍する脳を育てる秘訣なんです。

AI時代を生き抜くには、自己肯定感が不可欠です。人間の役割が、発想力に集約してくるから。

しかしながらヒトは、自己肯定感がなければ、心に浮かんだことを素直にことばにできない、

発想力を発揮できないのです。

というわけで、AI時代の子育ての最重要キーワードは自己肯定感！

で、自己肯定感とはなんなの？ それはどうやって育てればいいのか？

そんな疑問に、科学で答えます。

令和6年 **9月26日** 木

■時間：開演16時30分～18時閉会
(開場16時10分～)

■会場：杉並和泉学園・大アリーナ

■定員：350名 (定員に達し次第締切)

■対象：杉並和泉学園校区
中学部PTA、小学部PTA、杉並区在住者
※託児用スペースあり

くろかわ いほこ
黒川伊保子 <http://www.ihoko.com/>
株式会社 感性リサーチ 代表取締役 <http://www.kansei-research.com/>
人工知能研究者 (専門領域: プレイン・サイバネティクス)
感性アナリスト、随筆家
日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員


1959年、長野県生まれ、栃木県育ち。1983年奈良女子大学 理学部 物理学科卒。
ヒトと人工知能の対話研究の立場から、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた、
感性研究の第一人者。脳の気分を読み解くスペシャリスト (感性アナリスト) である。
コンピュータメーカーにてAI開発に携わり、男女の感性の違いや、ことばの発音が脳に
もたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。2003年、(株)感
性リサーチを設立、脳科学の知見をマーケティングに活かすコンサルタントとして現在
に至る。特に、男女脳論とネーミングの領域では異色の存在となり、大塚製薬の
SoyJoyをはじめ多くの商品名に貢献。
人間関係のイライラやモヤモヤに「目からウロコ」の解決策をもたらす著作も多く、
『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズは累計で100万部を超える人気。

【著書】
『夫のトリセツ』『妻のトリセツ』(講談社+α新書) 『家族のトリセツ』(NHK出版新書)
『息子のトリセツ』『母のトリセツ』(扶桑社新書)
『娘のトリセツ』『思春期のトリセツ』(小学館新書)
『不機嫌のトリセツ』『恋のトリセツ』(河出書) 『職場のトリセツ』(時事通信社)
『人間のトリセツ ～人工知能への手紙』(ちくま新書) 人工知能は、天使か悪魔か？
『ことばのトリセツ』(インターナショナル新書) ことばの本質とは何か
『共感障害 ～“話が通じない”の正体』(新潮社) 若者に急増する、新たなストレスの火種!
『定年夫婦のトリセツ』(SB新書) 定年が怖くなくなる
『コミュニケーション・ストレス』(PHP新書) 『ヒトは7年で脱皮する』(朝日新書)
『英雄の書 ～すべての失敗は脳を成長させる』(ポプラ新書) 人生という冒険に立ち向かう者へ
『母脳』(ポプラ社) AI時代の子育て指南。妊娠に気づいた日から、子どもが巣立つその日まで
『恋愛脳』『夫婦脳』『運がいいといわれる人の脳科学』『家族脳』『成熟脳 ～脳の本番は56歳から始まる』(新潮文庫)

参加お申込み方法

右記二次元バーコードからお申込ください。



主催  **あすをりなすの会**
ASUWORINASUNOKAI
杉並和泉学園校区 地域教育推進協議会

web : <https://asuworinasu.com/>

mail : izumi.jimukyoku2746@gmail.com

事務局 : 東京都杉並区和泉2-17-14 杉並和泉学園内

共催: 杉並区教育委員会、中学部PTA、小学部PTA

協力: 杉並和泉学園